

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	総合戦略【 5, 6, 7 】ページ 及び 全体像
○項目名	【 (1) 稼げる地域産業をつくる他関連 】
ご意見等	<p>農業施策について 稼げる地域産業において、基本目標指標に農業について表記が無い（5ページ）が、6ページからは表記がある。共通性をはかるべきでは。 TPPが確定し、本市の農業は、大きなダメージを受けることは明白であるが、その状況でKPIの根拠は？ 裏返せば、維持するための施策を明確にすべきでは？ 単純にアンテナショップや物産館で現状維持が可能と考えるのか？ トンネル事業中心の農業施策では、本市の農業は衰退の道をたどる。 農業の多面的機能及び自給率の堅持につながる施策を明記するべきでは？ TPPで、農業所得の低下が確定的である中で、どの様にして新規就農者の確保や認定農家を維持するつもりか？ 具体性に欠けていると思う。 県内一番の農業生産額を誇る本市の総合戦略に時代を敏感に捉えた計画を練りこむことが、大切と考える。</p>
市の考え方	<p>戦略の体系として、基本目標を達成するために施策があるという関係があり、基本目標の指標は4つの大きな目標を押し測る指標として、また施策の重要業績評価指標(KPI)はより具体的な成果を測って検証するための指標としてそれぞれ異なる指標としています。農業に関しては、基本目標「稼げる地域産業をつくる」の基幹的な取組として『稼げる農業の推進』で取り組んでまいります。 TPP交渉結果の報道等により、農業へのダメージが不安視されています。「総合戦略」では、まち・ひと・しごとの創生をキーワードに、地方のしごとに特化した施策を掲げており、稼げる農業の推進は決してはずせない取組です。取り巻く環境は厳しさを増す一方ですが、本市が持つ特性を活かして、こうし版の対策を打つことにより、重要業績評価指標(KPI)の新規就農者の確保や認定農業者の維持を図ります。 具体性に欠けるというご指摘や、農業の多面的機能、自給率堅持につながる施策及び時代を敏感に捉えた計画を練り込むべきとのご意見につきまして、「総合戦略」の内容を固定化しないよう抽象的な表現となっている点是否めませんが、今後事業を執行し毎年の検証を行っていく段階において、見直しや追加を検討していくことは可能と考えています。また、農業の持つ多面的機能や自給率堅持につながる施策につきましては、「市総合計画」の「農業の振興」の中に盛り込むことを検討します。</p>
○該当のページ数	総合戦略【 6, 11 】ページ
○項目名	【 (1) 稼げる地域産業をつくる 】 【 (4) 暮らしに満足し、住み続けたい地域をつくる 】
ご意見等	<p>現在、合志市においては、外部からの当市に足を運び、観光に、買物に来て頂くことは非常に少ないと思われる。 当市に来てもらう事を前提に考えてみたい。 リピーターを招く施設で有名なものはディズニーランドであろう。又スポーツ施設に足を運んで頂くには有効な手段であろう。しかし今作る事には無理があると思う。 そうならば立地である。熊本県の中心部であり、九州の地形でもほぼ中心地である合志市は、観光資源や人を呼ぶ催し事があるわけではない。しかし地の利を生かせる手段として近隣の観光資源、九州の各地の温泉資源の通り道である。スマートICの計画もある。 合志市に食事に、買物に、又お土産を買う場を是非作るべきと思う。 想像であるが、阿蘇に、黒川に、湯布院、別府に来られる方を合志市に足を止める施設を作る。充分に取り組めると思う。 今、ユーバレス弁天に物産館の工事が進んでいる。喜ばしい限りである。又竹迫開発もある程度光がみえて来た。九州各県はもとより、中国地方からの客を足を止めてもらうことが出来る施設を作るべきと思う。 合志に行けば食事が出来る。お土産を手にする事が出来る。それが今、合志を売ることが出来る方法ではなからうか。今から早急な取組、PRにつながる努力を願いたい。</p>
市の考え方	<p>ご意見のとおり、本市で買物やお土産を手にする場の提供は、アンテナショップの整備という形で進んでおります。また、回遊性のある本市に足を止めてもらう点については、「総合戦略」では「合志市への新しいひとの流れをつくる」という目標を目指し、「地域間広域連携等による観光振興の推進」を掲げています。またこれまで、本市には観光と呼べる資源が少ない、またはあっても市外部への発信は控え目の感がありましたが、「官民連携による女性輝く地域づくりの推進」において、地域間広域連携による取組を進め、地域資源応援や地域の魅力発信に取り組むとともに、単独市では売り込みや発信力が薄い点を地域間の連携で補い合い、地方が一体となって魅力の向上に努めます。</p>

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	合志市人口ビジョン【 27 】ページ
○項目名	アンケート回収率の低さ等
ご意見等	<p>1) アンケート配布6,000部に対して1,570部の回収は悪すぎる。(26.1%) 少なくとも30%以上は回収すべき。事前の説明不足を感じる。</p> <p>2) 特に、15～34歳の回収率が極端に低い。合志市を離れる年代、子供を生み育てる年齢層が少ない中でのデータまとめは本当の事実が解らず、この中で方針設定するのは少し不十分だと思う。なんらかの補完をするべきだと感じる。</p>
市の考え方	<p>1) まち・ひと・しごとアンケートの回収期間(H27.8.10～26、2週間程度)から、回収予定を2割程度と見込み、1,200以上の回答サンプル数を確保するため、配布母数を6,000部に設定し、予定以上の1,570部の回収に至ったところであり、信頼のできる結果だと考えています。</p> <p>2) ご意見のとおり、15～34歳の回収率につきまして、全体からみた回収割合は低い結果となりましたが、15～29歳の割合は13.7%であり、毎年実施している市民アンケートの結果(18～29歳)では、10%程度の回収率で推移しており、若い世代の回答意欲を示していると考えられます。</p> <p>そのうえで、まち・ひと・しごとアンケートでは、15～24歳の若い世代に特化した設問及び子どもを産み育てる世代(49歳まで)への設問を用意し、本市を離れる理由や戻ってこれる条件に関する設問、子育て環境に関する設問を設けて補完しているところです。</p> <p>今後、「市民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という基本目標を目指して総合戦略を実行し、施策の検証に当たって、市民アンケートの結果や、施策の重要業績評価指標(KPI)を基に、見直しや改善を図っていくこととしております。</p>

○該当のページ数	総合戦略【6、9】ページ
○項目名	【(1) 稼げる地域産業をつくる】、【観光振興について】
ご意見等	<p>1) 10月初旬、文教経済委員会で新潟市へ行政視察に行ったが、新潟市中央図書館では、ビジネス支援コーナーを設置してコンピューターマーケティングのビジネス書、雑誌を豊富にそろえ、様々な業種の仕事や就職、起業などに役立つ情報を提供したり、月1回の講習会が計画されていた。合志市でも6次産業の取り組み、ベンチャー企業の育成、雇用の創出に図書館を活用する事業を組んだらどうか。</p> <p>2) 市民の考え、力を取り込むために、政策課音頭による講習会を開き、ベンチャー企業が生まれるきっかけを作ったらどうか。</p> <p>3) 6次産業の取り組みにおいても、阿賀野市の熱のあるバイタリティーのあるリーダーを訪ねて話を聞いたが、強い牽引力を持った人であった。農林振興課の講習会により、国、県のプランナー等を紹介され育った様であった。まずは強いリーダー育成をする方策が必要だと考えます。</p> <p>観光振興について</p> <p>4) 近隣の広域市町村においてネットを組んだ取り組みを、まずモデル事業として始めることが必要だと思う。5～10年かかると思うので、取り掛かることが大事だと思う。</p>
市の考え方	<p>1)、2)、3)とも、貴重なご意見として、総合戦略の実行段階での参考にさせていただきます。</p> <p>「総合戦略」に設定する4つの基本目標で取り組む各施策は、何らかの形で『まち・ひと・しごとの創生』につながっており、創業や起業、所得向上及び雇用の創出につながる取組やアイデアにつきましては、各方面からのご意見をいただきながら進めていきたいと考えております。</p> <p>また、4) 観光振興に関するご意見につきましては、「合志市への新しいひとの流れをつくる」を目標に、近隣市町村をはじめ、県内の目的を同じくする市町村との連携を図り、新たな観光コンテンツづくりを推進します。</p>

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	総合戦略【6、7】ページ
○項目名	【稼げる農業の推進】
ご意見等	<p>ジェットロと協力し、農産物加工品の輸出 (例) 富裕層 農家(卵・にんにく生産)→企業(加工)→健康補助食品輸出 中間層 農家(野菜生産)→企業(ふりかけ加工)→農産物加工食品輸出</p> <p>各国GDPの伸びから、市場は国内と共に世界を意識したものへと変化していく。アジア市場を取り込むことは、合志市の農業、企業にとっても必然となってくる。 途上国の成長は、日本にとってポジティブととらえるべきである。 途上国では、富の配分が不均衡であることが予測され、金持ちは日本人より金持ちになっていく。中間層が増えてくる。 総合戦略5ヶ年で結果が出ないため、計画に盛り込むことは出来ないが、他市町村に先行して市場開拓すべきではないか。 重要業績評価指標(KPI)等については不明。申し訳ありません。</p>
市の考え方	<p>海外に展開するグローバルなご意見ありがとうございます。 今回の「総合戦略」では、海外に積極的に展開する施策にまでは言及しておりません。しかし、ご意見の農産物加工品を健康補助食品として展開する取組につきましては、「地域間広域連携等による特産品の販売強化と地域情報の発信」の施策において、機能性植物の実用化を進め市をあげて応援していくことで、海外展開へと広がる可能性を持っています。現時点で「総合戦略」の事業としての表記はありませんが、実用化の出口戦略として、重要業績評価指標(KPI)も含めて、検討することになっていくと思います。 海外、アジア市場の情勢につきましては刻々と変化しており、ご意見のとおり他に先駆けた市場開拓に向けて、各方面からのご意見をいただきながら推進していきたいと考えます。</p>
○該当のページ数	人口ビジョン【12・13】ページ
○項目名	【エリア別人口動向】
ご意見等	<p>第一小・合志小校区への人口増加 (例) 重点土地利用計画の商業施設誘致とともに、農産物加工工場を成長させ、女性雇用の拡大をはかる。 第一小学校のインターナショナルスクール化。</p> <p>女性の就労の場と子育て環境がポイントとなると考える。 南部地域は順調に増加すると考えられる。 北部地域に転入を誘導する施策が必要である。 第一小学校のインターナショナルスクール化は、実際には無理と考えるが、地域未来塾や地域の寺子屋など、国・県の補助金を利用し、特色のある学校をPRし、知的好奇心のある子育て世代を市北部地区に呼び込む。 市全体の人口ビジョンのため、ある地域に絞って記載することに無理があると思っています。</p>
市の考え方	<p>ご意見のとおり、人口減少傾向にある市北部への誘導を図るため、女性雇用の拡大を図る必要があります。「女性・子ども支援室設置によるトータルサポートの推進」や「官民広域連携による女性輝く地域づくりの推進」の施策で、総合的なサポートや女性目線の政策提言を活性化し、幅広く女性活躍の場を創出していくとともに、地域に合った雇用対策を検討していきたいと考えています。 また、地域的に特色のある取組を展開していくことは、「総合戦略」の時代に合った地域をつくることにも合致し、市における地域間の連携や相乗効果につながることも期待でき、事業展開への意見として参考にさせていただきます。</p>

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	人口ビジョン【4】ページ
○項目名	生涯未婚率グラフ（女）
ご意見等	熊本県12.2%、熊本市10.5%となっているが、熊本県10.5%、熊本市12.2%ではないか。
市の考え方	グラフ表示中、数値タイトルの付け方が誤っておりました。修正いたします。

○該当のページ数	人口ビジョン【9】ページ
○項目名	地域別転入出の状況と超過（2013年：県外・その他）
ご意見等	色分けが分かりにくい。
市の考え方	数値のみの表示となっておりますので、イメージで分かりやすく示せるよう工夫します。

○該当のページ数	総合戦略【4】ページ
○項目名	2. 人口ビジョン II 人口の将来展望(1)
ご意見等	合計特殊出生率を、平成42(2030)年までに2.1に上昇し、その後は2.1で推移する。 ⇒「合計特殊出生率は、」とするべき
市の考え方	修正いたします。

○該当のページ数	総合戦略【4】ページ
○項目名	3. 目指すべきまちづくりの方向性
ご意見等	「結果的に医療費の削減」にはつながっても、介護費用が増加する可能性もあるので、財政負担の軽減につながるという確証がないイメージだけの表現は避けた方がいいと思う。
市の考え方	健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指すことは、健康である期間を延ばすため、慢性期に係る医療費や介護費用を予防的な健康延伸のためにシフトしようとするものです。医療費の適正化に併せ、「介護費用の抑制」も狙いの一つです。 「総合戦略」は、自立した地方の創生を意図し、ここでは、目指すべきまちづくりの方向性を示すものですので、財政負担の軽減につながるような取組を実行していく方向性を表すことにしています。

○該当のページ数	総合戦略【5】ページ
○項目名	5. 基本目標 「（1）稼げる地域産業をつくる」の基本目標指標
ご意見等	雇用創出数及び創業者数を増やす：5年間で100人・社増加 100人はわかるが、社の意味が分からない。100社という意味か。
市の考え方	雇用創出数は人数「人」、創業者数として事業所数を想定し「社」としましたが、分かりにくいため、いずれも人数を基本に、合計の「人(者)」数を指標の単位とします。

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	総合戦略【6】ページ
○項目名	施策の基本的方向
ご意見等	合志市健康増進計画、食育基本計画についての言及があるべきだと思う。
市の考え方	「産官医が連携した地域版ヘルスケア産業の推進」に関するご意見と思いますが、この施策は『稼げる地域産業をつくる』という基本目標の達成を目指しています。当然、合志市健康増進計画及び食育基本計画が示すヘルスプロモーションの考え方をもとに「健康都市こうし」の実現を目指すところは同じですが、「総合戦略」では、市民(ひと)の健康増進を目的に、新たなヘルスケア産業(しごと)を創出しようとするものであり、両計画の目的達成の姿に異なる部分もあるため、ここでは言及していません。

○該当のページ数	総合戦略【6～7】ページ
○項目名	施策②「稼げる農業の推進」
ご意見等	稼げる農業を掲げているのだから、KPIにも何らかの金額、産出額、農業所得増などの指数が必要ではないか。
市の考え方	ご意見のとおり、施策の組立段階で農業生産所得などの数値も検討しましたが、「総合戦略」では、これまでの農業のみのあり方から、地域性や独自性など新たな展開が求められ、金額としての成果指標を設定することが困難と考え、しごと及び雇用の観点から指標を設定したところです。

○該当のページ数	総合戦略【8】ページ
○項目名	施策⑤「がんばる企業及び中小企業支援による地域雇用の創出」 KPI
ご意見等	新規顧客獲得数が何を指しているのか不明
市の考え方	ご意見のとおり、分かりにくい点がありましたので、再度主な事業の内容を精査し、この施策の重要業績評価指標(KPI)は、「企業立地に伴う創出雇用者数」としました。

○該当のページ数	総合戦略【9】ページ
○項目名	施策①「移住、定住の促進と空き家利活用の推進」
ご意見等	「人口の規模に左右されず」は不必要ではないか。人口減少の推計に対して「移住しやすい」「移住してみたい」を増やす施策なので、あえて書くことではないと思う。
市の考え方	この施策での、移住、定住の促進は、人口の減少に歯止めをかけるというより、負担世代の年代層から選んでもらえる「こうし移住スタイル」を提供することであり、人口の規模を積極的に増やすものではないことを表現したところです。

○該当のページ数	総合戦略【9】ページ
○項目名	施策②「地域間広域連携等による観光振興の推進」 KPI
ご意見等	合志市への県外からの観光客数 ※H26実績値 86,735人（出典の明記がない。）
市の考え方	熊本県観光統計調査です。なお、重要業績評価指標(KPI)の出典については、全てに明記いたします。

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	総合戦略【10】 ページ
○項目名	施策②「官民広域連携による女性輝く地域づくりの推進」
ご意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性の育児休暇取得率 対象となる女性の範囲が明らかでない。</li> <li>・9ページ、地域間広域連携等による観光振興の推進の成果とどう区分するのか。</li> </ul>
市の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「合志市子ども・子育て支援事業計画」のニーズ調査を基に、就学前児童の子を持つ女性のうち就業中の女性を対象にした育児休業取得状況の結果です。(H26現在：68.7%)</li> <li>・9ページの観光客数は、集客施設(農業公園「カントリーパーク」やユーパレス弁天等)における数値、ここでは、女性輝く地域づくりの推進で取り組む観光振興事業における数値を想定しています。(説明を加えます。)</li> </ul>

○該当のページ数	総合戦略【12】 ページ
○項目名	7. 総合戦略の推進に当たって (1)地域間の連携について
ご意見等	「まち・ひと・・・」に関しては、県内市町ともライバル関係にあることは人口ビジョンでも明らかなので、地域間の連携についての表現は再考の余地がある。
市の考え方	「まち・ひと・しごとの創生」及び「地方創生」は、ご意見のとおり各市町村間の知恵の競い合いだと思います。しかし、人口減少社会において、東京一極集中を是正するのに、地方の市町村同士が奪い合っても無意味だと思います。地方の持つ魅力や潜在力を引き出すために、県内で意思や目的を同じくする自治体があれば連携し、相乗効果を発揮してそれぞれの自治体の魅力が向上するような取組を積極的に進めます。

○該当のページ数	総合戦略【12】 ページ
○項目名	7. 総合戦略の推進に当たって (2)庁内組織体制について
ご意見等	地方創生プロジェクトチームと政策部政策課の業務のすみ分けはどうなっているのか。
市の考え方	地方創生プロジェクトチームは、各部のまとめ役また戦略の事業組立の検討役として、各部署の事業や今後の展開に精通した課長補佐級の職員で構成しています。また、政策部政策課はプロジェクトチームと連携し、地方創生推進本部(政策推進本部)との調整及び「総合戦略」そのものをコーディネートする担当として、マネジメントする役割を担います。

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	人口ビジョン【1】 ページ
○項目名	I. 人口の現状分析 1.人口の推移 (1) 総人口
ご意見等	(合志市総合計画、計画期間：2015年～2031年) は誤記では。
市の考え方	ご指摘のとおり誤りです。修正いたします。

○該当のページ数	人口ビジョン【13】 ページ
○項目名	II. 地域の特性・その他
ご意見等	1行目の「泉ヶ丘」は誤記では。
市の考え方	ご指摘の表記は、「将来推計人口増減率 平成22年～平成42年」のグラフ中の地域を指し、「南部地区の須屋や泉ヶ丘のほか、・・・人口の増加が見込まれています。」として、人口増加の地域を説明していますが、ご指摘のとおり、地域の名称と指し示す場所が一致していません。よって、「南部地区の須屋や泉ヶ丘」を「南部の陽光台、桜和の丘周辺」に改めます。 ※「陽光台」及び「桜和の丘」は現在の行政区名です。

○該当のページ数	人口ビジョン(案)の概要【A3版】
○項目名	1.合志市の人口の推移及び構成 3.人口の将来展望
ご意見等	1.「社人研」には、注釈が必要では。 3.生産年齢人口の後に、(15歳～64歳)の注釈が必要では。
市の考え方	1.ご指摘のとおり、「社人研」の説明として、「(国立・社会保障人口問題研究所)」を挿入します。 3.ご指摘のとおり、生産年齢人口の年代を説明するため、「(15～64歳)」を追記します。

○該当のページ数	総合戦略【全体】
○項目名	重要業績評価指標 (KPI)
ご意見等	総合計画のように、KPIの設定根拠を示してほしい。
市の考え方	重要業績評価指標 (KPI) は、施策の成果を毎年検証し、進捗の度合いや効果を測るとともに、次の改善に結び付けるための指標です。 原則、アウトカム(成果)重視の指標を用いることとされており、各指標ともその施策の効果、成果を測るため、それぞれの施策に合致し確実に測定できる主要な指標を設定しています。

## 寄せられたご意見と本市の考え

○該当のページ数	総合戦略【1】ページ
○項目名	戦略の趣旨
ご意見等	「PDCAサイクル」との表現がしてあるが、総合計画の5ページでは、大きく「PDSサイクル」を使用しており、統一した方が良いのでは。
市の考え方	「総合戦略」では、国が示す長期ビジョン及び総合戦略を勘案して地方版を策定することとなり、「PDCA(Plan(計画) Do(実行) Check(検証) Action(改善))」サイクルで表記されていますので、国及び県との整合を図ったところです。

○該当のページ数	総合戦略【5】ページ
○項目名	5. 基本目標 (1) 稼げる地域産業をつくる ①指標
ご意見等	5年間で100人・社増加とあるが、社の前に数字は入らないのか。〇〇〇社
市の考え方	ご指摘の表記は、「雇用創出数及び創業者数を増やす」の指標として目標値を示すものです。5年間で100は、「雇用創出数としての人数及び創業者数としての事業所数」の合計数を想定して設定しましたが、創業者数としての「社」と人数は合計になじみませんので、いずれも「人数」としてカウントし、『人(者)』の単位として表記します。なお、創業者数は複数の場合も「人数」としてカウントします。

○該当のページ数	総合戦略
○項目名	5. 基本目標 全体
ご意見等	指標のうち「市民アンケートより」の現状H26・・・の記載について検討してほしい。
市の考え方	ご意見の表記は、市が毎年実施している市民3,000人を抽出した「市民アンケート」の最新の数値を使用すべきとの検討だと思います。 市が「行政評価」を実施し自立した行財政運営を行うに当たり前年度の実績を測るため、市民意識調査(アンケート)を行うものですが、調査の結果が判明するのが毎年8月頃になります。「総合戦略」につきましても前年度の実行による実績を把握して検証していきますが、検証の時期をより早く始められるよう前年の数値を使用することとしていました。 ご意見を受け、検証作業の進め方を工夫し、最新の「市民アンケート」結果を反映するよう修正します。